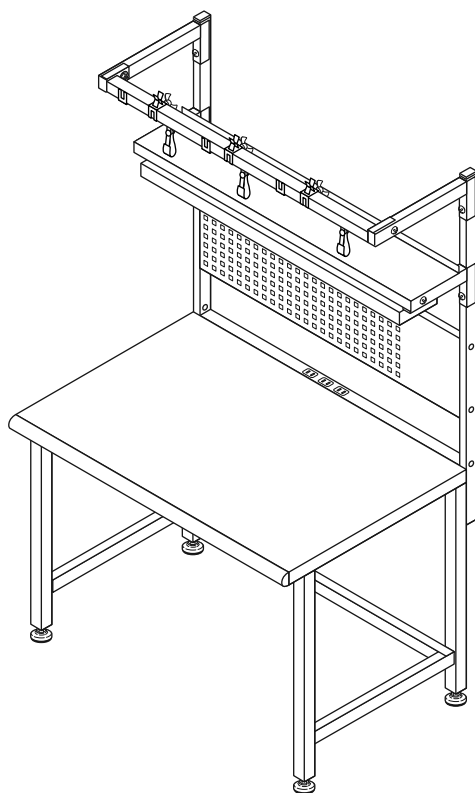


ニューマークⅡ

[MA, TMA]

取扱説明書

この度はサカエ製品をお買い上げくださりましてありがとうございます。
この説明書は、この製品の使い方(使用上の注意事項)と組立てについて記載しています。
組立て・ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、この製品を末長くご使用いただくために、この説明書は大切に保存してください。
尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、
下記のお客さま相談室までご連絡ください。



Sサカエ

大阪市城東区成育5丁目22-9

お客様相談室 フリーダイヤル  0120-575101

この製品を安全に、また末長くご利用いただくために、次の事項を必ず守って下さい。

△安全上のご注意

1. 天板の等分布耐荷重（天板全面に均等に物を置いた場合）は、

固定式 250kg

移動式 150kg

高さ調整タイプ 200kg

（棚板の耐荷重（棚板全面に均等に物を置いた場合）は、 30kg/段
引出しの等分布耐荷重（引出し全面に均等に物を置いた場合）は、 30kg/段）

積載荷重は、天板の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。

スライドレールの吊り下げ荷重は、 20kg

吊り金具1ヶ当り吊り下げ荷重は、 4kg

パンチングパネルの許容荷重は、 70kg

ルーバーパネルの許容荷重は、 70kg

各オプションパーツの許容荷重は、

B-1N	4kg	Z-0	2kg
B-2N	7kg	Z-1	4kg
		Z-2	7kg
SA-1	3kg		
SA-2	5kg	Z-100	3kg
SA-3	8kg	Z-200	5kg
SA-5	13kg		
		CKF-01	1kg
MF-11	2kg	CKF-02	1kg
MF-11L	2kg	CKF-03	1kg
MF-12	2kg	CKF-04	1kg
MF-12L	2kg	CKF-05	1kg
MF-13	2kg	CKF-06	1kg
MF-13L	2kg	CKF-07	0.5kg
MF-14	2kg	CKF-08	0.5kg
MF-14L	2kg	CKF-09	1kg
MF-15	2kg	CKF-10	2kg
MF-15L	2kg	CKF-11	2kg
MF-16	2kg	CKF-12	2kg
MF-16L	2kg	CKF-13	2kg
MF-17	4kg		
MF-17S	4kg		
MF-18	4kg		
MF-19	1kg		
MF-20	5kg		
MF-21	10kg		
MF-24	2kg		
MF-24L	2kg		

2. ワークライトは、周波数50Hz、60Hz切替式となっております（グロー式のみ）。スイッチにて地区に応じてその地域に合った周波数に合わせて下さい。また、ワークライトやコンセントチャンネルのコンセント部や配線部には水がかからない様にして下さい。感電及び漏電の原因となります。

3. 製品の上に腰を掛けたり、ぶら下がったり、乗ったりしないで下さい。転倒や転落事故の原因になります。
4. 使用中にボルトやネジのゆるみなどによるガタツキが生じたときは、締め直して下さい。ゆるんだままで使用していると、変形や破損及び転倒などの原因となります。
5. 製品の分解・改造や部品をはずしたり、はずれたままで使用しないで下さい。
6. キャビネットの引出しはゆっくりと引いて下さい。引出しを強く引きますとストッパー破損の原因になり、抜け落ちる恐れがあります。
7. キャビネットの引出しを引いたまま上から強く押えたり、重い物を置いたり、踏台として使用しないで下さい。故障や事故の原因となります。
8. 可動部（キャビネット、スライドレールなど）の隙間に指を入れますと、指をはさむ恐れがありますので絶対に入れないで下さい。
9. 移動式作業台を台車や運搬車のかわりに使用しないで下さい。
10. 移動式作業台を設置するときは、必ずキャスターのストッパーをロック位置にして下さい。
11. この製品を移動するときは、
＜固定式作業台の場合（アジャスター付）＞
移設やレイアウト変更等は安全の為、最寄りの購入店へご相談下さい。お客様で作業される場合は、組立て方に基づいて各パーツをもどして、始めから移設場所にて組立て下さい。
＜移動式作業台（キャスター付）＞
載せてある物を全ておろし、キャスターのストッパーを解除して長辺方向に複数でゆっくり行って下さい。ただし、引出しのある物は鍵をかける等して、引出しが飛び出ないようにして移動して下さい。
短辺方向に行いますと転倒の恐れがあります。ただし、床に段差のあるところを移動するときは、固定式作業台の場合と同様に行って下さい。
12. 固定式作業台を引きずって移動しないで下さい。床を傷つけたり、アジャスター破損の原因となります。また、本体と床面等にガタツキがあるときは、アジャスターで水平に調整して下さい。
13. 帯電防止マット張作業台の使用に当たっては、確実にアースを施して下さい。また、定期的にアース間での導通のチェックを行って下さい。
14. 帯電防止マット張作業台の電気抵抗は、 $6 \times 10^5 \Omega \sim 8 \times 10^5 \Omega$ 以下です。
15. この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を十分に説明し、この説明書もお渡し下さい。

◆使用上のご注意

1. この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかるところでは、故障や表面材の損傷の原因となりますので使用しないで下さい。
2. 直射日光の当たるところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。
3. 製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。変色や変形の原因となります。
4. 製品を水に濡れたままにしておきますと表面材の損傷の原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
5. ポリエステル化粧板は比較的衝撃にもろい性質がありますので、衝撃を加えますと損傷の原因となります。
6. キャビネットの鍵は盗難防止用ではありませんので、貴重品等は保管しないで下さい。
7. キャビネットの鍵を掛けるときは全ての引出しを確実に閉めて下さい。
8. キャビネットをご使用になる前に鍵番号は控えて下さい。
9. キャビネットの鍵を紛失した場合は、鍵番号を確認して、購入先を通じてご注文下さい。(有料となります。)

10. 消耗部品には寿命があります。キャスター部や可動部などに、異常音等（損耗現象）が発生した場合は、購入先へご相談下さい。
11. キャスターやアジャスター等は床面が汚れたり、跡形が残る場合があります。
12. 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
13. 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。

汚れが著しい場合は、次の1～3の手順を守って汚れを落として下さい。

1. 薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いて下さい。
2. 水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いて下さい。
3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取って下さい。

※汚れが落ちない場合は、1～3の作業を繰り返して下さい。

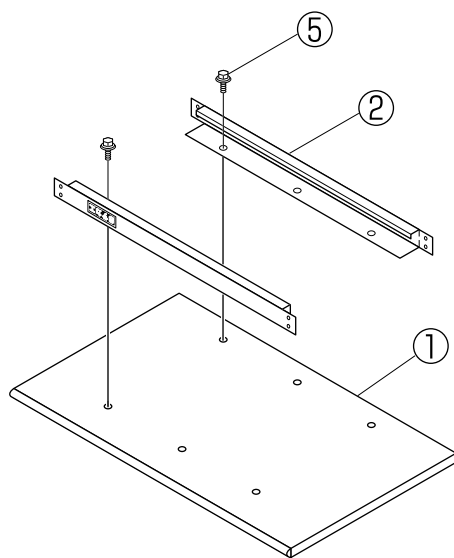
※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。使用しますと表面材の損傷の原因となります。

●部 品 明 細

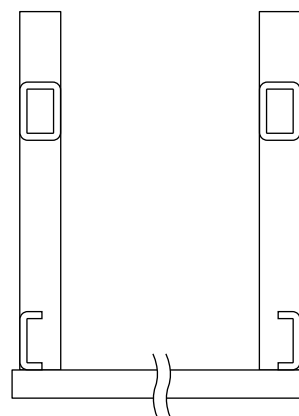
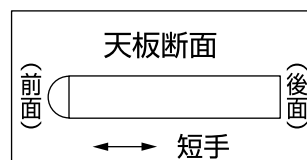
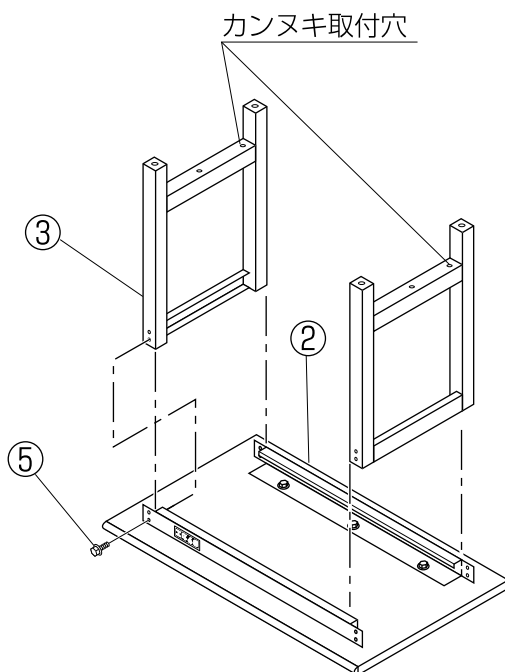
番号	部 品 名	数 量						番号	部 品 名	数 量					
		MA-□F	MA-□L	MA-□H	TMA-□F	TMA-□L	TMA-□H			MA-□F	MA-□L	MA-□H	TMA-□F	TMA-□L	TMA-□H
1	天 板	1	1	1	1	1	1	23	トラスタッピンネジ (M4×10φ・棚板用)	—	4	4	—	4	4
2	天受けビーム	2	2	2	2	2	2	24	コードガイド	—	—	3	—	—	3
3	脚フレーム	L・R 各1	L・R 各1	L・R 各1	L・R 各1	L・R 各1	L・R 各1	25	ストッパー金具	—	—	3	—	—	3
4	カンヌキ	1	1	1	1	1	1	26	吊 金 具	—	—	3	—	—	3
5	六角アプセットセムス (M8×18φ)	12 (14)	8 (10)	8 (10)	12 (14)	8 (10)	8 (10)	27	パンチングパネル	—	1	1	—	1	1
6	六角ボルト (M8×65φ)	2	2	2	2	2	2	28	トラス小ネジ (M6×35φ)	—	4	4	—	4	4
7	平 座 金 (M8)	2	2	2	2	2	2	29	セレート付フランジナット (M6)	—	4	4	—	4	4
8	パネ座金 (M8)	2	2	2	2	2	2	30	アジャスター	4	4	4	4	4	4
9	セレート付フランジナット (M8)	2	2	2	2	2	2	31	カラー (12.7φ・39φ)	—	6	6	—	6	6
10	上 支 柱 (Lタイプ)	—	2	—	—	2	—	51	キャビネット	1	1	1	1	1	1
11	上 支 柱 (Hタイプ)	—	—	2	—	—	2	52	キャビネット吊金具	2	2	2	2	2	2
12	六角ボルト (M8×55φ)	—	6	6	—	6	6	53	六角ボルト (M8×15φ)	4	4	4	4	4	4
13	パネ座金 (M8)	—	6	6	—	6	6	54	平 座 金 (M8)	4	4	4	4	4	4
14	平 座 金 (M8)	—	8	8	—	8	8	55	ワークライト	—	1	1	—	1	1
15	棚 アーム	—	2	2	—	2	2	56	コンセントチャンネル	1	1	1	1	1	1
16	棚 板	—	1	1	—	1	1	57	六角ボルト (M6×40φ)	2	2	2	2	2	2
17	上部アーム	—	—	2	—	—	2	58	平 座 金 (M6)	2	2	2	2	2	2
18	スライドレール	—	—	1	—	—	1	59	六角ナット (M6)	2	2	2	2	2	2
19	トラス小ネジ (M6×50φ・アーム用)	—	2	4	—	2	4	60	キャスター	4	4	4	4	4	4
20	トラス小ネジ (M6×30φ・ワークライト用)	—	2	2	—	2	2	61	パネ座金 (M12)	4	4	4	4	4	4
21	トラス小ネジ (M6×35φ・スライドレール用)	—	—	2	—	—	2	62	平 座 金 (M12)	4	4	4	4	4	4
22	セレート付フランジナット (M6)	—	4	8	—	4	8	※ () 内数量は、MA-15□、TMA-15□タイプを示します。							

● 組 立 て 方 法

《MA-□Fタイプ》
《TMA-□Fタイプ》

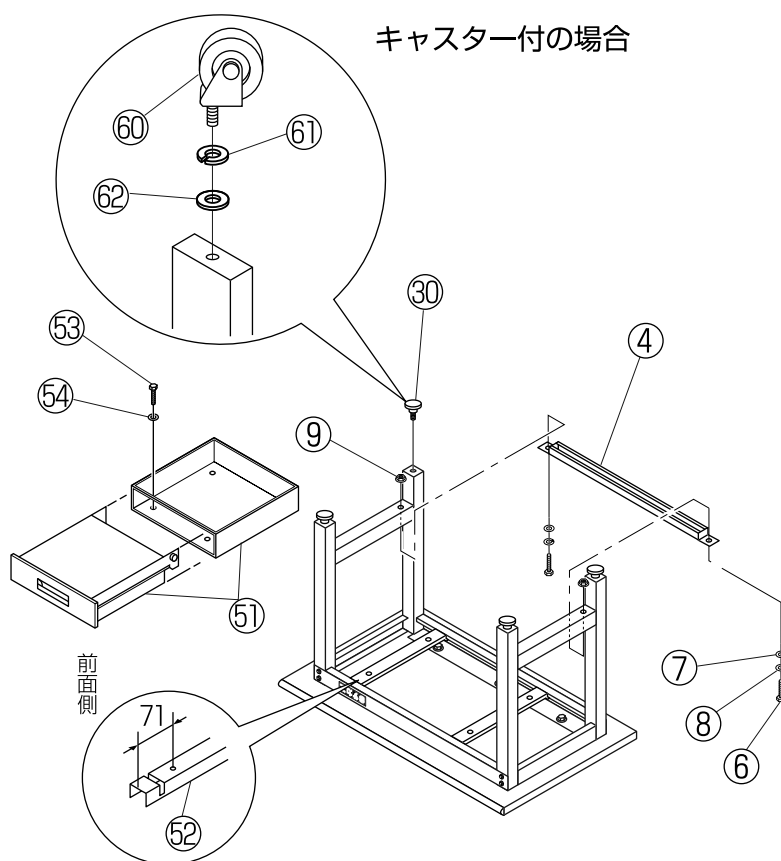


- ①裏返した天板①の上に天受けビーム②を前後に置き、六角アプセットセムス⑤で仮止めして下さい。

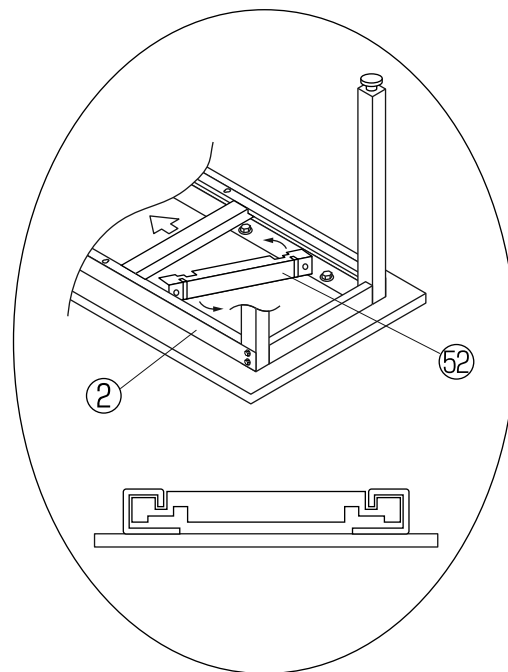


脚フレームは上図の向きに取付けて下さい。

- ②脚フレーム③を逆さにし、下図のように天受けビーム②の両端に差し込み、外側より六角アプセットセムス⑤で仮止めして下さい。
※この時、脚フレームカンヌキ取付穴が、天板の後面側になるように取付けて下さい。



キャビネット吊金具 取付方法



- ③ カンヌキ④を脚フレームに下から差し込み、六角ボルト⑥、バネ座金⑧、平座金⑦、セレート付フランジナット⑨で締め付けて下さい。その後、全部はすれないように本締めして下さい。
 さらに、脚フレームの先端部にアジャスター③をねじ込んで下さい。〔固定式のみ〕
 脚フレームの先端部に平座金⑦、バネ座金⑧、キャスター⑥を付属のスパナにてしっかり固定して下さい。〔移動式のみ〕

【キャビネットが付く場合】

キャビネット吊金具⑤②を上図のように、本体フレームの任意の場所にセットして下さい。

【キャビネットの取付方法】上記のキャビネット吊金具⑤②をセットした後、キャビネット⑤①の引出しを抜き裏返して、キャビネット吊金具⑤②の上に置き六角ボルト⑤③、平座金⑤④で仮止めします。その後、取付けるキャビネットが下記Aのタイプである場合、本体（キャビネット）を図3のaの位置に本体の前面がくるように合わせます。

また下記Bのタイプのキャビネットの場合は、bの位置に本体の前面がくるように合わせます。

そして、それぞれの位置に合わせたのち、はずれないように本締めして下さい。

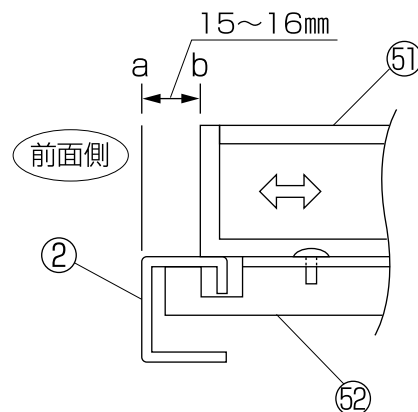
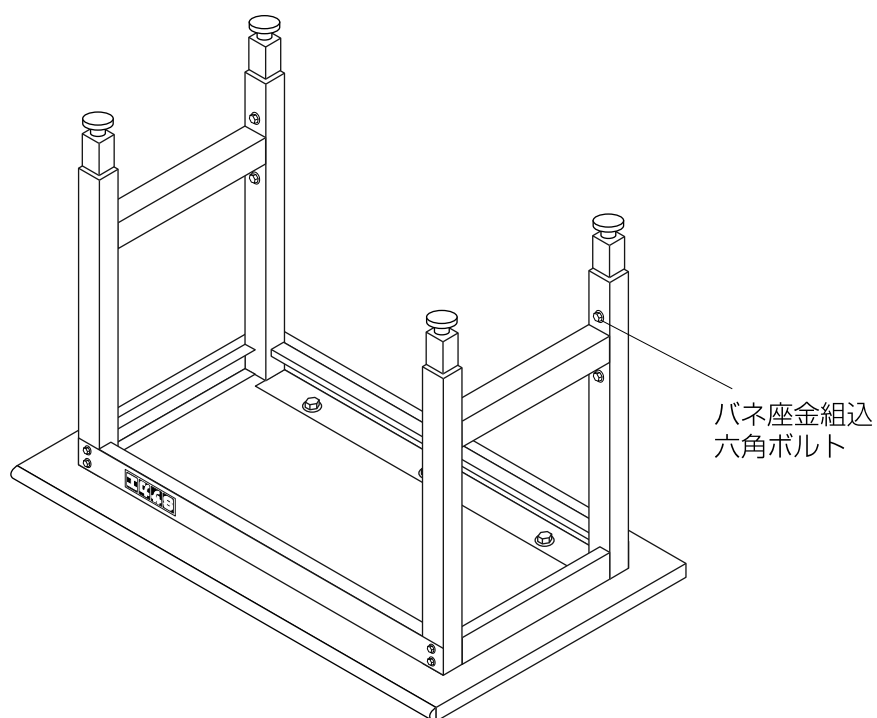


図 3

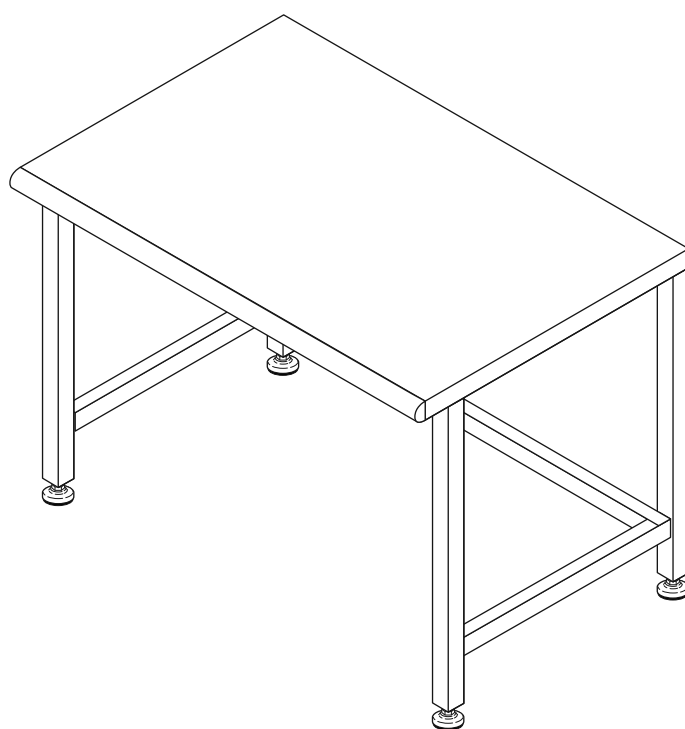
A (NKL - 11, 22, 32, 33, WKL - 1, 2, 3)

B (NKL - S10, S20, S30, NKL - 10, 20, 30, ML - 2A, 3A)



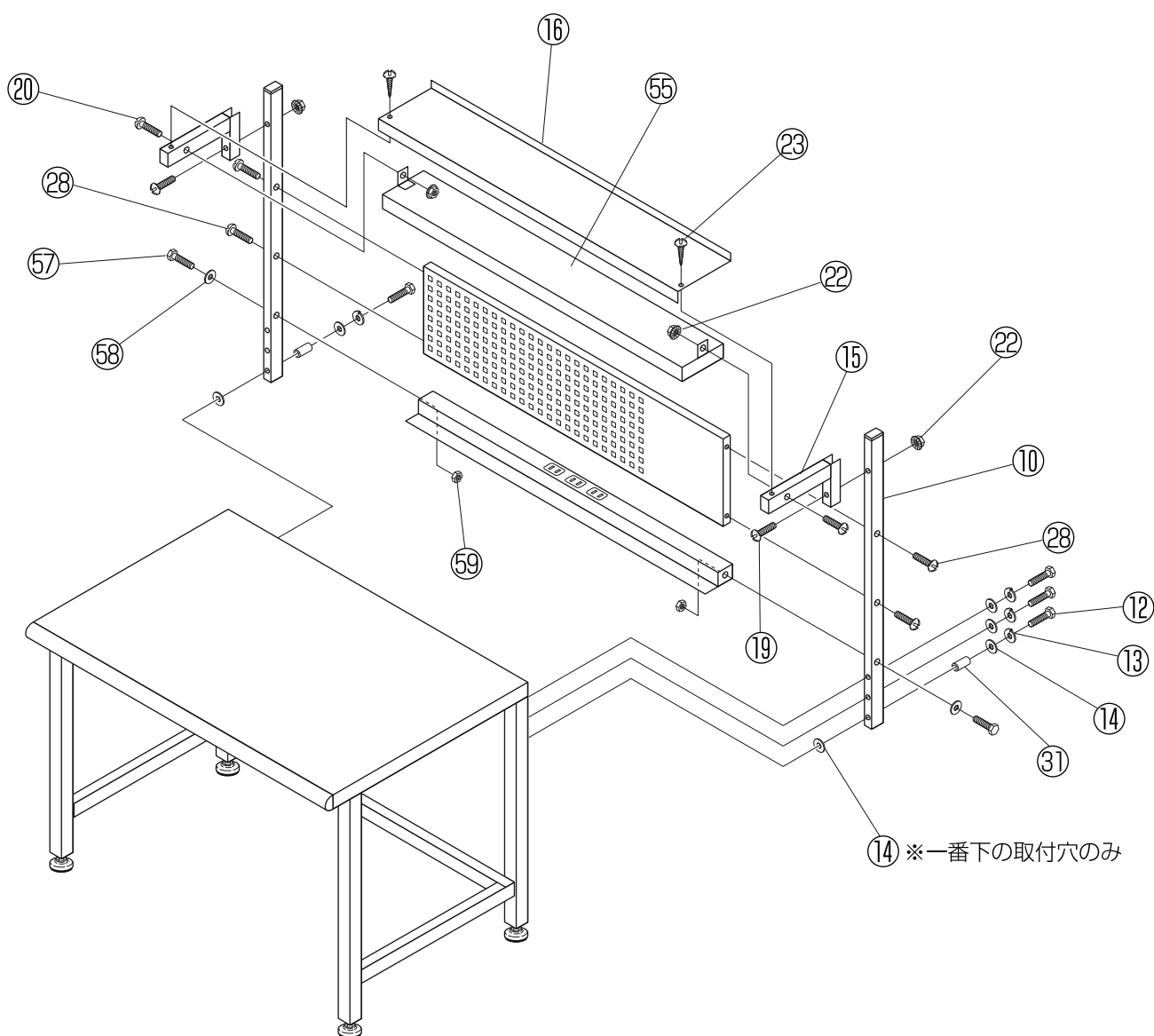
④<TMAタイプのみ>

高さを変更する場合は、バネ座金組込六角ボルト8本をゆるめて調整し、再度しっかりとはずれないように締め直して下さい。



- ⑤全てのボルトをはずれないように本締めしたのち、本体を起こし、アジャスターで水平レベルを出して下さい。
MA-□F・TMA-□Fタイプは、これで組立完了です。

《MA-□Lタイプ》
《TMA-□Lタイプ》

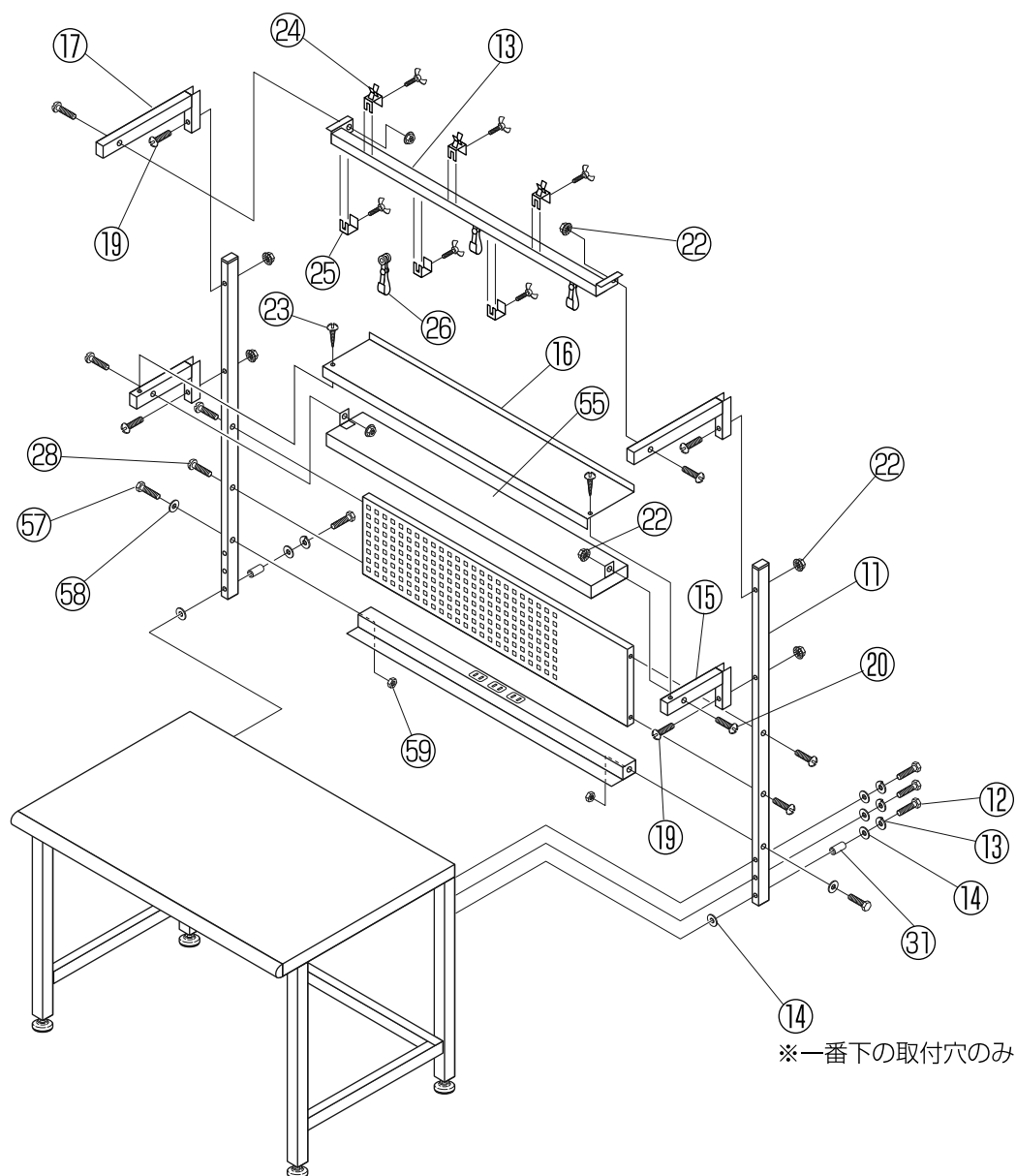


- ① Fタイプの①～⑤までと同じです。
- ⑥ 上部支柱（Lタイプ）⑩に棚アーム⑮をトラス小ネジ⑲、セレート付フランジナット⑳で仮止めして下さい。
- ⑦ ワークライト⑤⑤が取付く場合は、上図のように棚アーム⑮にトラス小ネジ⑲、セレート付フランジナット⑳で仮止めして下さい。
- ⑧ 棚板⑯を棚アーム⑮の上に置き、トラスタッピンネジ㉓で取付けて下さい。
- ⑨ 本体脚フレーム後部の天受けビームを止めている六角アプセットセムス⑤（2×2ヶ所）をはずし、その箇所に上部支柱を六角ボルト⑫、バネ座金⑬、平座金⑭、カラー⑳で本体に仮止めして下さい。（3×2ヶ所）
また、上部支柱の一番下の取付穴と脚フレームを固定される際は、その間に平座金⑭をスペーサーとして、1枚入れて下さい。
- ⑩ 全てのボルトをはずれないように本締めして下さい。

【コンセントチャンネルが取付く場合】

本体後部より、天板と天受けビームの間に差し込み、上部支柱⑩の外側より六角ボルト⑤⑦、平座金⑤⑧、六角ナット⑤⑨で取付けて下さい。

《MA-□Hタイプ》
《TMA-□Hタイプ》



- ① Fタイプの①～⑤までと同じです。
- ⑥ 上部支柱（Hタイプ）⑪に棚アーム⑮、上部アーム⑰をトラス小ネジ⑲、セレート付フランジナット⑳で仮止めして下さい。
- ⑦ 上部アーム⑰にスライドレール⑩をトラス小ネジ㉑、セレート付フランジナット㉒で取付けた後、吊金具㉓をスライドレールの下部より差し込み、ストッパー金具㉔を任意の場所にセットして下さい。
但し、1ヶだけは、吊金具の差し込み口をふさぐように取付けて下さい。（吊金具落下防止の為）
その後、任意の場所にスライドレールの上からコードガイド㉕を取付けて下さい。
- ⑧ ワークライト㉖が取付く場合は、上図のように、棚アーム⑮にトラス小ネジ㉗、セレート付フランジナット㉘で仮止めして下さい。
- ⑨ 棚板⑯を棚アーム⑮の上に置き、トラスタッピンネジ㉙で取付けて下さい。
- ⑩ 本体脚フレーム後部の天受けビームを止めている六角アプセットセムス㉚（2×2ヶ所）をはずし、その箇所に上部支柱を六角ボルト㉛、バネ座金㉜、平座金㉝、カラー㉞で本体に仮止めして下さい。（3×2ヶ所）
また、上部支柱の一番下の取付穴と脚フレームを固定される際は、その間に平座金㉝をスペーサーとして、1枚入れて下さい。
- ⑪ 全てのボルトをはずれないように本締めして下さい。

【コンセントチャンネルが取付く場合】

本体後部より、天板と天受けビームの間に差し込み、上部支柱⑩の外側より六角ボルト㉟、平座金㉝、六角ナット㉞で取付けて下さい。